

JMRAインターネット調査品質委員会 主催

生成AI活用・情報交流会(第1回)

情報交流会開催の趣旨

2023年度のJMRAインターネット調査品質委員会の中で、
生成AI(主にChatGPT)の活用検証を実施



業界の発展のために
委員会の中で閉じず、もっと多くの人と共有し合いたい

現場で役立つ知識、使い方ノウハウ、プロンプトの書き方など
業界内で**オープンに共有し合う**ことで、
日々の業務に活かせるようにする

本日のアジェンダ

- 1)LT1(日経リサーチ 太田さん)
- 2)LT2(インテージ 二瓶)
- 3)ブレイクアウトルーム 「生成AIとのかかわりや関心のあること」について情報交換
- 4)トークタイム
- 5)LT3(日経リサーチ 太田さん)
- 6)LT(希望者がいらっしゃればぜひ！)
- 7)今後の情報交流会について

生成AI活用・情報交流会(第1回) LT

生成AI・LLMの マーケティングリサーチ活用

株式会社インテージ 二瓶

生成AI・LLMを業務活用していますか？

マーケティングリサーチ業務で
どのように活用できるか？

2023年度インターネット調査品質委員会 ChatGPT活用のグループワーク B班：OAデータ分析

OAデータの要約

元データ

1	ID	Q19SFA1
2	1	なし
3	2	たくさんのポイントがもらえる
4	3	iPhoneでもgoogleストアの金券と交換させてほしい
5	4	簡単
6	5	高ポイント
7	6	少ない設問数で大量のポイントがもらえるアンケートが良い。
8	7	リアルな映像
9	8	やつがないから
10	9	アンケートを増やして欲しい
11	10	特に無い
12	11	出来るだけシンプルでわかりやすい質問文がいいです。
13	12	簡単なアンケート
14	13	ポイントが多い
15	14	興味もてるアンケート
16	15	ポイント増量。
17	16	サクサク進む
18	17	ポイント数が多いとき
19	18	高ポイント
20	19	もう少しボーナス欲しい
21	20	ランダムでポイントゲット
22	21	もう少しポイントを貯まりやすくして欲しい
23	22	面白い質問
24	23	ポイント増量。

実行したプロンプト

あなた

 JMRA_Q19SFA1_3.xlsx
スプレッドシート

日本語で返答してください。
添付のデータは、アンケートモニターサイトに対して望むことについてのアンケートデータです。
1列目のデータが回答者のID、2列目のデータが回答データです。
1行目はデータの変数名です。
以下の#条件を満たすよう、データの処理を行い、結果を出力してください。
#条件
・回答データは全て文字列として扱うため、最初の処理で文字列に変換してください。
・回答データを全て読み込んだ上で、1000文字程度で内容を要約してください。
・要約する際に、5つ以上の観点を含めるようにしてください。

回答結果

 ChatGPT

 解析中にエラーが発生しました ▼

エラーにより、指定された列名「回答データ」がデータセットに存在しないことがわかりました。データセットの最初の数行を表示して、実際の列名を確認しましょう。[-]
データセットの列名は「ID」と「Q19SFA1」です。「Q19SFA1」列が回答データを含んでいると思われるので、この列のデータを文字列に変換し、その後データの内容を要約いたします。[-]
データセットから読み取った回答データを基に、要約を以下の5つの観点で行います：

- ポイントに関する要望:** 多くの回答者が、より多くのポイントを獲得したい、またはポイントの獲得が容易であることを望んでいます。特に、「たくさんのポイントがもらえる」「高ポイント」「ポイント増量」などの表現が目立ちます。
- アンケートの簡便性:** 回答者はアンケートが「簡単」で「サクサク進む」ことを好むようです。また、「短い時間で回答できる」や「選択肢回答」を好む声もあります。
- アンケートの形式:** 「ゲーム形式」「二択」のように、よりエンゲージメントを高める形式やシンプルな形式への要望が見られます。
- アンケートの可読性:** 「字を大きくしてほしい」「わかりやすい質問文がいい」といった、アンケートの可読性や理解しやすさに関するコメントがあります。
- 特別な報酬や機能の要望:** 「お金を稼ぐ」「現金が欲しい」「ランダムでポイントゲット」のように、通常のポイント獲得以外の報酬や機能に対する要望も存在します。

これらの観点から、アンケートモニターサイトのユーザーは、報酬の量と獲得のしやすさを重視しており、アンケートの進行がスムーズで、理解しやすい形式を好むことが分かります。また、ユーザーの興味を引くような特別な報酬や機能に対する期待もあります。これらの要望に応えることで、ユーザーの満足度やエンゲージメントを向上させることが可能です。[-]

ChatGPT活用のグループワーク B班：OAデータ分析

OAデータのコーディング

実行したプロンプト

あなた

JMRA_Q19SFA1_3.xlsx
スプレッドシート

日本語で返答してください。
添付のデータは、アンケートモニターサイトに対して望むことについてのアンケートデータです。
1列目のデータが回答者のID、2列目のデータが回答データです。
1行目はデータの変数名です。
以下の#条件を満たすよう、データの処理を行い、
#出力形式に従ってファイルを作成してください。
#条件
・回答データは全て文字列として扱うため、最初の処理で文字列に変換してください。
・回答データを全て読み込んだ上で、5個以上のカテゴリに分類し、そのカテゴリの代表的な内容を表す、日本語のカテゴリ名称をつけてください。
・カテゴリ番号は1から順番に付与してください。
・1つの回答データに対して複数のカテゴリが付与されても構いません。
・「特になし」や「ない」、「なし」といった回答データは1つのカテゴリに分類し、最も大きいカテゴリ番号に分類してください。
・各カテゴリに該当する場合は「1」、該当しない場合は「0」をデータに入れてください。
#出力形式
ID、元の回答データ、カテゴリ番号1～最後の番号 の順でタブ区切りで出力
ラベル番号1～最後の番号については、「カテゴリに付与したカテゴリ名称」を付与してください。



追加プロンプト

それぞれのカテゴリを代表する回答データを3つずつ、ピックアップして返答してください。

回答結果

ID	Q19SFA1	ポイント 関連	報酬の種 類	利便性	使用のし やすさ	否定的な 回答	その他
1	なし	0	0	0	0	1	0
2	たくさんのポイントがもらえる	1	0	0	0	0	0
3	iPhoneでもgoogleストアの金券と交換させてほしい	0	1	0	0	0	0
4	簡単	0	0	1	0	0	0
5	高ポイント	1	0	0	0	0	0
6	少ない設問数で大量のポイントがもらえるアンケート	1	0	0	0	1	0
7	リアルな映像	0	0	0	0	0	1
8	やつがないから	0	0	0	0	1	0
9	アンケートを増やして欲しい	0	0	0	0	0	1
10	特になし	0	0	0	0	0	1
11	出来るだけシンプルでわかりやすい質問文がほしい	0	0	0	1	0	0
12	簡単なアンケート	0	0	1	0	0	0
13	ポイントが多い	1	0	0	0	0	0
14	興味もてるアンケート	0	0	0	0	0	1
15	ポイント増量。	1	0	0	0	0	0
16	サクサク進む	0	0	0	0	0	1
17	ポイント数が多いとき	1	0	0	0	0	0
18	高ポイント	1	0	0	0	0	0
19	もう少しボーナス欲しい	0	0	0	0	0	1
20	ランダムでポイントゲット	1	0	0	0	0	0
21	もう少しポイントを貯まりやすくして欲しい	1	0	0	0	0	0
22	面白い質問	0	0	0	0	0	1
23	ポイント増量。	1	0	0	0	0	0
24	ポイントが貯まる	1	0	0	0	0	0
25	短い	0	0	0	0	0	1
26	短い時間で回答できる	0	0	0	0	0	1
27	選択肢回答にしてほしい	0	0	0	0	0	1
28	ポイントが多い	1	0	0	0	0	0
29	簡単	0	0	1	0	0	0

各カテゴリを代表する回答データを3つずつピックアップしました。以下にそのリストを示します：

ポイント関連:

- ・ポイントが高い
- ・ポイントを増やして欲しい
- ・継続ポイントがもらえる

報酬の種類:

- ・ PayPayに直接交換出来るようにしてほしい
- ・ dポイントやメルペイ残高に交換できるようにしてほしい
- ・ 交換先の種類を増やしてほしい

利便性:

- ・ 入力が簡単
- ・ 手軽に高ポイントがほしい
- ・ 簡単

使用のしやすさ:

- ・ シンプルな質問にしたい。
- ・ 端的にシンプルな質問にしたい
- ・ シンプル

否定的な回答:

- ・ なし
- ・ 特になし
- ・ 思いつかない

その他:

- ・ なるべく簡潔に
- ・ な
- ・ 対象口座が増えること

これらの回答は、各カテゴリにおけるユーザーの意見や要望の傾向を把握するのに役立ちます。[6]

現時点での活用可能性をまとめてみる

一般的な生成AI・LLM(ChatGPTなど)のマーケティングリサーチでの活用

工程	内容	評価	コメント
調査企画	顧客課題にフィットする調査手法を考える	△	一般的な情報は出力可能だが、自社商品との組み合わせは考慮してくれない
調査票設計	調査設問の構成を考える	○	背景情報も含めたプロンプトを与えた方が良い結果が返る
	調査設問の選択肢を考える	◎	効率的かつ網羅的に選択肢を生成できる(ブランド名の生成時は、情報が古い可能性があるので要注意)
	調査票そのものを自動生成	×	分岐条件なども考慮した生成は難しい
集計・分析	集計	△	細かい指示が必要な場合は集計ツールを使った方が早い
	不良回答検出	△	OAの不良回答判定は意外と難しい。1つずつ不適切なものを判定される方法も。
	OAコーディング	○	自動化できるのがメリット
レポートニング	OA要約	◎	LLMが得意なタスク
	示唆出し	○	プロンプトの工夫で、ある程度文脈も考慮した示唆出しが可能
	インサイト発掘	×	一般的な言及に留まる
応用例	ペルソナ生成	－	Asclone(ビデオリサーチ社) https://www.videor.co.jp/service/media-data/asclone.html 博報堂 生成AIで生活者発想を支援するサービスプロトタイプ https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/109174/
	AIモデレーター	－	Bolt Chat AI https://www.boltchatai.com/
	回答データそのものを生成(Synthetic Data、デジタルツイン)	－	ESOMAR Connect Japan 2024 GMOリサーチ&AI 安藤氏 https://www.jmra-net.or.jp/activities/event/2024/20240612r.html

マーケティングリサーチ業務で生成AI・LLMを活かすポイント

気がつかなかったことに気づく

リアルタイム性

Copilot

リサーチャーに役に立つ参考資料

1) 日清の事例（プロンプト例や各部署でどのように使ってるかなど）

https://www.nissin.com/jp/ir/library/event/pdf/20240314_2.pdf

2) ソフトバンク業務改善に役立つChatGPTのプロンプト文例集 |

<https://www.softbank.jp/biz/solutions/smb/prompt/>

3) サイバーエージェント主催の生成AIコードエージェントのイベント(動画) 「AIコーディングのトレンド」

https://www.youtube.com/live/DxteatOlLow?si=fHPj_ZH3WwAlDItM&t=2319